



令和6年度 園だより 5月号

R6.5.1 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園

幼稚園のプランターに植えたいちごが可愛い実をつけました。今年は暖冬のせいか葉が思うように育たずに心配していましたが、ようやく赤くなった実を子どもが見つけて一生懸命に水やりをしています。入園進級から1か月がたち、どのクラスも落ちついた様子で、遊びや活動を楽しんでいます。中には張り切りすぎて疲れが出たり、緊張から体調を崩したりする子もいますので、ゴールデンウィークはゆったり過ごして体調を整えてあげてください。

毎朝の送り迎えでお父さんの姿をよく目にします。「イクメン」という言葉も浸透し、子育てを両親で助け合って行うことが定着してきたように思います。また、おじいちゃんやおばあちゃんの姿も見られます。子育てを母親一人で行うのは、本当に大変です。父親をはじめ、おじいちゃん、おばあちゃんなどたくさんの大人がかかわることで、その大変さを分け合うだけでなく、同時に子育ての楽しさもみんなで味わってほしいと願っています。

大阪教育大学の小崎恭弘先生が次のようにお話されていました。『子育てはとても楽しいものです。幼い子どもが日々成長する過程は、何にも代えがたい喜びの一つです。そのことに一生懸命に関わることで、夫婦や親子が一つの家族となっていくのです。不透明で混迷の時代だからこそ一步一步確実に家族を作っていくことを始めてほしいと思います』と。

家庭や幼稚園そして地域社会の子どもに関わる大人が一体となって子どものよき育ちをサポートしていきたいです。

園長 和田 由美

	今月のねらい	今月のうた♪
年少	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園生活に慣れる ・自分の好きな遊びをみつけて楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんせいとおともだち ・こいのぼり
年中	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできることを進んで行う ・やりたい遊びを見つけ、保育者や友だちと楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・せんせいとおともだち ・こどりのうた
年長	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな遊びを友だちと十分に楽しむ ・身近な自然に親しみ、興味関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・おかあさん ・はしるのだいすき

こどもの姿から・・・

「ママに会いた～い！☺️」と泣く年少さんへの対応で「そうだよ。ママのこと大好きだもんね。早く迎えに来てもらえるようにお電話しようね」と事務室へ一緒に行って、電話を掛ける姿（本当は掛けるマネです）を見せることがあります。すると、子どもは納得してお部屋に戻って遊び始めます。子どもなりに気持ちを切り替えることができるのです。もうしばらくは夕子先生の名演技が必要ですね。

